

学校生活の状況について

標記の件について、下記のとおり報告します。

- 1 令和3年度の英語指導助手（AET）の配置について P 2
 - 2 プログラミング教育の進捗状況について P 3
 - 3 JOYOプロモーション計画について（西城陽中学校） P 4
- 〈参考資料〉 8月～10月の生徒指導上の事象について P 5～7

1 令和3年度の英語指導助手（AET）の配置について

1 英語指導助手の配置について

ネイティブスピーカー（AET）を有効に活用することで、英語による表現力・発信力の強化と国際感覚の醸成を進め、英語教育の充実とグローバル化への対応を目的としている。この間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新たなAETの来日が見込めない状況が続いたため、民間委託を行い新たなAETを確保した。その後、予定されていたAETが順次来日できることとなり、現在は13名体制で市立小中学校や幼稚園へAETを派遣することで外国語教育を推進している。

2 AET配置の経過

令和3年 4月 6名体制で令和3年度スタート

令和3年 8月 契約満了に伴い3名が退職し3名体制となる

令和3年 8月 民間委託により新たに4名配置し7名体制で2学期をスタートさせる

令和3年10月 JETプログラムより2名来日し9名体制となる

令和3年11月 JETプログラムより4名来日し13名体制となる

令和3年12月 JETプログラムより1名来日予定であり、14名体制になる見通し

3 現在の配置状況（11月現在）

小学校10校に8名配置、中学校5校に5名配置、幼稚園兼務配置

4 業務内容

- (1) 学校の年間指導計画に基づく英語指導（中学校外国語科、小学校外国語活動及び英語科）の指導補助
- (2) 英語指導に係る教材・テスト等の作成及び評価の補助
- (3) 学校行事や特別活動及び課外活動への参加による児童生徒の国際感覚の醸成
- (4) 英語教育担当教員の指導力向上研修会等での指導助言

2 プログラミング教育の進捗状況について

1 プログラミング教育が導入された背景

現行の学習指導要領から「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的に実施することが必修となった。

私たちの周りにある家電や自動車等、多くのものにはコンピュータが使われ、生活を便利で豊かにしている。これらがプログラミングで動いていることやその仕組みの一端を知ることと共に、将来どのような仕事に就くとしても、コンピュータを適切で効果的に活用できるようになっておくことは極めて重要である。

2 学校でのプログラミング学習

各教科の学習において、自分が意図する活動を実現するため、必要な命令とその適切な組み合わせを論理的に思考するプログラミング学習を行っている。

例として、音楽科で、様々な音源・リズムを組み合わせて曲をつくったり、算数科で、正多角形を作図したりする作業を行っている。

3 城陽市教育委員会が学校に提供している取組

(1) BIOME（バイオーム）を活用したプログラミング教育

ア 実施対象

市内全小学校の6年生

イ 内 容

NTT西日本と連携し、BIOME（バイオーム：撮影した生物を約8万種のデータからAIが生物の名前を判定するアプリ）を活用して、AI機能を体験した後、世の中や自分の生活をより便利にする新しいアイデアのAI機能を考える。

(2) ドローンを活用したプログラミング学習

ア 実施対象

市内全小学校の5年生と中学校の2年生

イ 内 容

ドローンパイロット養成スクール「京奈DRONESTATION」の協力により、ドローン（TELLO）を計画通りに飛行できるように、命令コードを工夫して組み合わせたり、命令内容を書き換えたりすることでプログラミングフライトを行う。

(3) その他

AI機能を使って生活をより便利にする優秀なアイデアを考えた児童に対して、NTT西日本から表彰が行われる。

3 JOYOプロモーション計画について（西城陽中学校）

1 趣旨

現行の新学習指導要領では、「何を学ぶか」に加えて「どのように学ぶか」という「主体的・対話的で深い学び」が求められており、これには多様な生徒同士が協働的に議論するなど、学習者主体の教育に転換する視点が必要となっている。

そのため、社会の様々な課題に関心を寄せ、答えのない問いに立ち向かう能力と郷土愛の醸成をねらいとして、本市の未来を創造する「JOYOプロモーション計画」に取り組むこととした。

2 取組内容

本市の現状を理解するために、インターネットによる調べ学習とともに市の協力が必要と考え、官学連携の取組を令和2年度2学期から始めた。学校に市職員を招いた交流会では、課題解決に向けての多くのアドバイスを受けた。生徒は、市の対策を考えながら、調べ方、話し方、伝える力などのスキルを身に付けることができた。最後に、これらを基に、創造した魅力ある城陽市の姿を具体化したプレゼンテーションを市に提案する。

3 取組状況

(1) 郷土を再発見しよう～「知りたい」城陽～

「特産物」「道路・上下水道」「観光・歴史」「子育て・教育」「商工業」「防災」の6つのテーマごとにグループを作り、調べ学習を行い、学年で壁新聞などで情報共有することができた。

(2) 郷土の良さを引き出そう～「行きたい」城陽～

魅力アップのための意見を出し合い、保護者や親戚等に城陽市についての聞き取りを行った。各テーマに関する市職員を学校に招き、グループごとに交流会を行い、城陽市の強みと弱み、住みやすいまちづくりについて考えることができた。

(3) 郷土の魅力を高めよう～「住みたい」城陽～

「動画」「ポスター」「お土産」「特産品」「土地活用」「イベント」の6部門でのプレゼンに向けて、和菓子屋、各部門に関する市職員、芸術高校教師など、各部門の達人に専門的なアドバイスを受けながら活動を進めた。また、講師を招き、「人に伝えるための話し方講座」を受講した。

(4) 郷土の魅力を発信しよう

住みたい、行きたくなる城陽市をプレゼンテーションとしてまとめて、市に提案する。

参考資料

8月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和3年8月1日～8月31日)

問題行動 件数 校種	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																		19 不登校	20 その他被害等																				
	1 暴力		2 対生徒		3 対教師		4 器物損壊		5 恐怖		6 万引き		7 盗金		8 盗バイク		9 盗自転車				10 金銭の持ち出し		11 火遊び		12 喫煙		13 飲酒		14 薬物乱用		15 悪質行為・不健全		16 無断外泊・家出		17 わいせつな行為		18 不純異性交遊		19 その他	
	生徒	教師	教師	損壊	恐怖	万引き	盗金	盗バイク	盗自転車	金銭の持ち出し	火遊び	喫煙	飲酒	薬物乱用	悪質行為・不健全	無断外泊・家出	わいせつな行為	不純異性交遊			その他																			
小学校																			1	1																				
男																			1	1																				
女																																								
中学校																			5	8																				
男																																								
女																			5	8																				

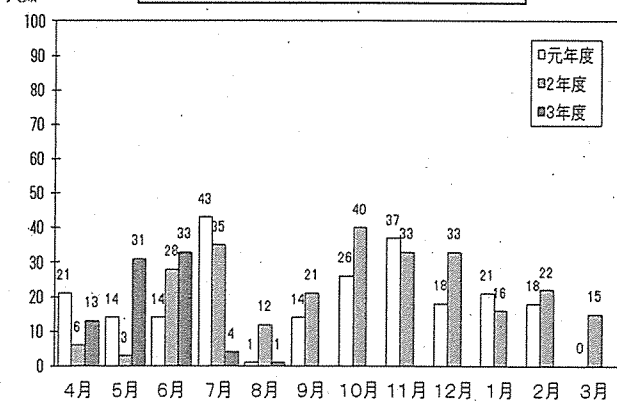
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男					1		1				
女								7		1	8
計					1		1	7		1	8

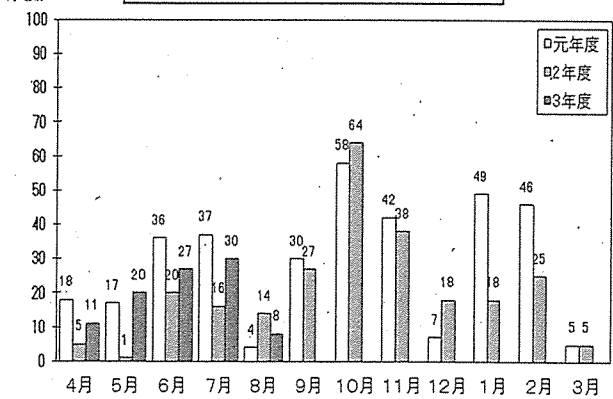
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男											
女											
計											

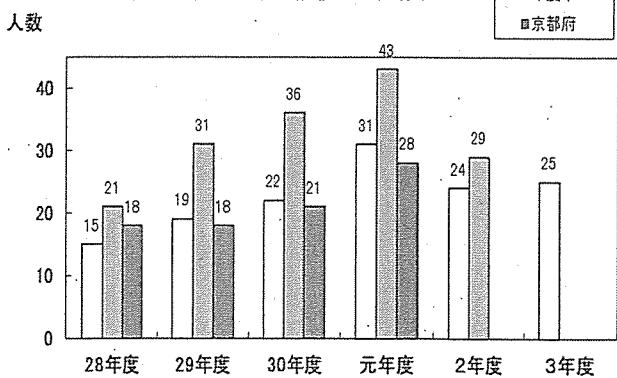
小学校における問題行動指導延べ人数



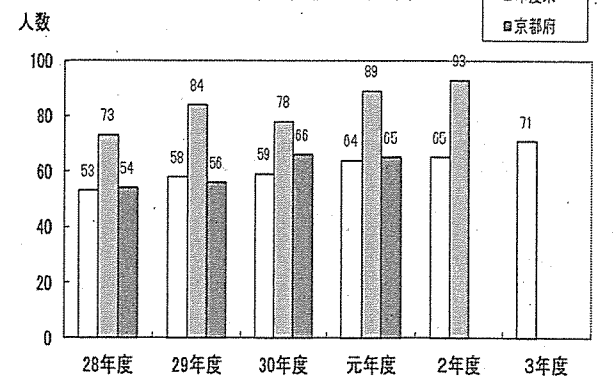
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校不登校児童数の推移<1学期末>



中学校不登校生徒数の推移<1学期末>



※ 京都府の数値については、京都府の不登校児童生徒の発生率を城陽市の児童生徒数の割合で表したものである。

参考資料

10月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和3年10月1日~10月31日)

問題行動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力	器	恐	窃	盗	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ	計	不	そ		
件数	生徒	対	対	物	万	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ	計	登	他		
校種	間	教師	人	損	引	銭	の	の	の	物	質	断	い	純	の	計	校	被		
人数	間	間	間	壊	つき	・	持	遊	煙	酒	乱	外	せ	異	他	計	等	害		
小	5			1		1									1				15	23
学	5			1															17	23
校																			4	6
中																			15	15
学																			18	18
校																			9	9
校																			9	9

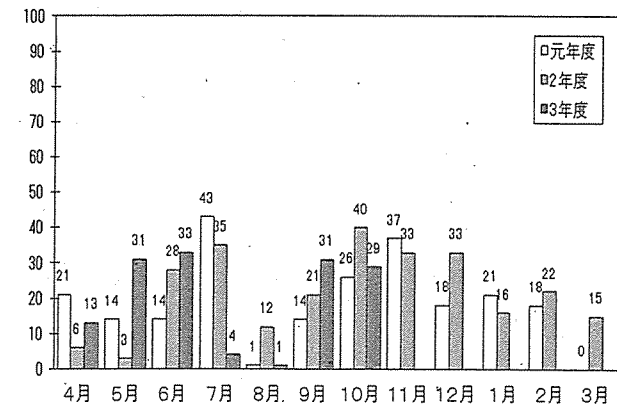
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	8	1	2	2	4	6	23	6	9	3	18
女				4	2		6	2	7		9
計	8	1	2	6	6	6	29	8	16	3	27

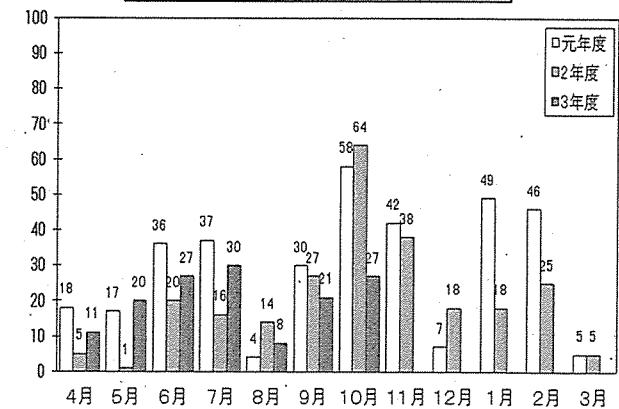
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		2	2	3	2	5	14	9	16	13	38
女		1	2	2	4	3	12	7	13	16	36
計		3	4	5	6	8	26	16	29	29	74

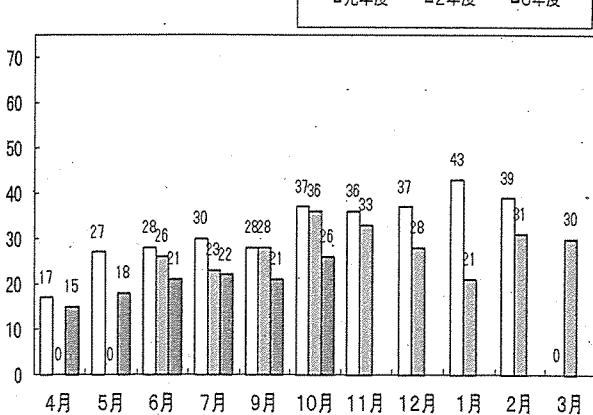
小学校における問題行動指導延べ人数



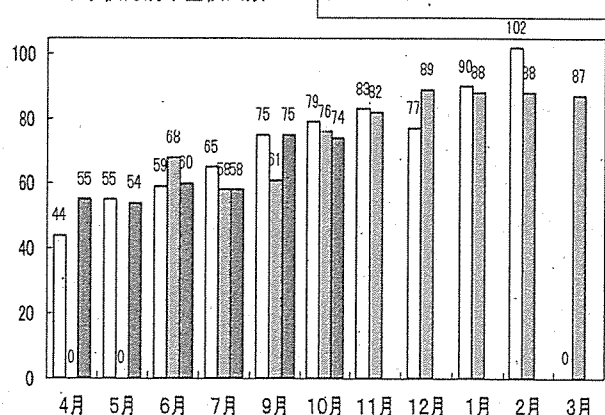
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ425号より抜粋